



瀧澤千里さん

たきざわ・ちさと 川崎町 一関市成人式企画実行委員会委員長

新成人×未来

古里の思い出と仲間と過ごした時間。かけがえのない財産を胸に、夢に向かって、今、一步を踏み出す—

一関高専で物質化学工学を学んでいます。今は卒業研究の真っ最中。実験やレポートの作成に、忙しい毎日を送っています。

イベントが大好き。実行委員会は、一生に一度の機会だと思い、入会を決めました。委員の仕事で大変だったのは、ビデオレター撮影の段取り。慣れない作業を仲間が助けてくれました。

「How did you grow up?」というテーマも、委員全員で決めたもの。仲間と一つの目標に向かって努力した時間は、大切な宝物です。

中学校を卒業するときに起こった東日本震災は忘れられない記憶です。つらい経験でしたが、周りの人の大切さを実感するきっかけになりました。ここまで成長できたのは、家族、友達、先生や地域の人たちが支えてくれたおかげ。感謝でいっぱいです。

4月からは神奈川県で半導体を研究開発する会社に就職します。地元を離れて初めての一人暮らし。まずはしっかり自立するのが目標です。立派な社会人になって、いつか大好きな古里に恩返ししたいです。

二十歳の意力

The future is in our hands.

成人式の記念行事を企画した実行委員会。思い出に残る行事にしたいと願う新成人の有志20人が、市内各地域から集まった。昨夏の8月から準備を開始。仕事や学業の合間に、20回以上の打ち合わせを重ねた。直前までリハーサルを行い、本番では一丸となってイベントを大成功に導いた。



二十歳の彼らは、無限の可能性を持っています。彼らが夢をかなえるためには、地域や社会の後押しが不可欠です。今、飛び立った新成人の明日が輝くように。未来の彼らが輝けるように。

若者が輝ける明日へ

今年の成人式のテーマは「自分がどうやって成長してきたか」。新成人は、これまでの人生を見つめ直すことで、周りの人々への感謝を新たにしました。インタビューで、新成人は「家族や古里に恩返ししたい」と、生まれ育った地域を自分たちの手で盛り上げたいという強い思いを話してくれました。

今年の全国の新成人は、前年比5万人減の121万人。総人口に占める割合は0.95%で、本市の新成人の割合も1%を割っています。次代を担う若者への期待が高まる一方で、少子高齢化による負担は重くなっています。将来への不安を抱えている新成人も少なくないでしょう。

「私たちに無限の可能性がある」

高橋葵さん

たかはし・あおい 巖美町



私たちは、一関市に生まれ育ち、学び、たくさんの経験を積んできました。今年の成人式のテーマは「How did you grow up?」。これまでの日々を振り返ることで、私たちが今、大切な一步を踏み出そうとしています。進学、卒業、就職や結婚など、これから待ち受けるさまざまな人生のイベントは、楽しみでもあり、不安でもあります。夢に向かって歩む中

で、壁にぶつかるかもしれない。でも、どんなに苦しくても、乗り越えていく覚悟があります。格好悪くても、目標のために必死に道を切り開く。そんな姿を見守ってほしい。私たちに無限の可能性があります。大人への仲間入りを果たしたばかりですが、これから、社会に大きく貢献できるように成長していきたいと思っています。

*成人式当日のあいさつを一部編集しています

新成人×決意

人生の節目に自分を見つめ直した。これまでの歩みと、これからの歩み。感謝と夢でつづった、ハタチの等身大のメッセージ。



■小岩元希さん(一関) 臨時職員として市役所に勤務しています。職場や私生活で信頼される大人になりたい。これまで成長できたのは、家族や地域の皆さんのおかげです。



■及川麻衣さん(花泉) 看護師を目指しています。県内に就職し、地域医療に貢献したいです。患者から信頼される看護師になって、家族に恩返しできるように頑張ります。



■佐藤洸太さん(大東) 一関高専でレーシングカーを作る活動をしています。古里の技術力をアピールしていきたい。いつも私を応援してくれる家族に感謝。



■小野寺華さん(千厩) 県内の大学で英米文化や文学を学んでいます。留学をして視野の広い大人になりたいです。国際リニアコライダーの実現に期待しています。



■那須野飛鳥さん(東山) 一関高専で化学工学を学んでいます。将来は石油化学コンビナートのプラントで働くのが夢。これから少しずつ親孝行したいです。



■小野寺凱さん(室根) 今春、一関高専から秋田の大学に編入学します。化学の専門分野を学び、環境問題やエネルギー問題を解決するのが夢です。



■葛西幹弥さん(川崎) 一関高専でプログラミングを学んでいます。4月からは他県に就職します。女手一つで育ててくれた母に感謝。これからは私が支えたいです。



■熊谷紗耶華さん(藤沢) 市内で製造業の仕事をしています。わがままな私を今まで育ててくれた家族には感謝でいっぱい。これからは両親に恩返しをしたいです。